第 53 回 住総研 シンポジウム
震災・災害復興支援事業

おとなのための住まい学がなぜ必要か

2019 年度 住総研重点テーマ「おとなのための住まい学」連続シンポジウム第 2 回
［東京編］

2019 年 11 月 15 日（金）

13:10 ～ 17:00（開場 12:40）

学士会館 210 号室
東京都千代田区神田錦町 3-28

参加費　一般 1,000 円　学生 500 円
定員 120 名 先着順

主題解説

碓田智子（大阪教育大学 教授）
「おとなの住生活力調査」と「住まい学マップ」の報告

話題提供（講演順）

馬場弘一郎（一般財団法人 住総研 研究推進部 部長）
おとなのための「住情報マップ」の報告

小澤紀美子（東京学芸大学 名誉教授）
学校教育での「住環境教育」の現状と課題
～大人へどう結びつけるのか～

森口美帆（神戸市すまいとまちの安心支援センター 企画係長）
市民相談から見えるおとなの住生活力の課題
～知って、主体的に行動することを支援する～

生川慶一郎（京町家居住者）
京町家を主体的に住みこなす
～すまいは大人の学びの場～

パネルディスカッション

司　　会：**檜谷美恵子**（京都府立大学大学院 教授）
パネリスト：**小澤紀美子**，**森口美帆**，**生川慶一郎**（前掲），
岩前篤（近畿大学 教授），**瀬渡章子**（奈良女子大学 教授）

〈主催〉一般財団法人 住総研　　一般財団法人住総研は 2018 年創立 70 年を迎えました
〈後援〉神戸市すまいとまちの安心支援センター，京都市住宅供給公社 京（みやこ）安心すまいセンター，
大阪市立住まい情報センター，公益社団法人都市住宅学会，一般社団法人日本家政学会，
一般社団法人日本建築学会（予定）

私たちの暮らしにおいて、「住まい」に関わる「知識」とはどういう時に必要であろうか。住宅の選択や売買・賃貸、相続、建替え、子育て期の住環境、高齢期の住まい、大規模災害後の住まいの再建など、人生のステージで岐路に立ったり、何かの問題に直面して初めて必要となるものが少なくない。また、住まいについては専門的な内容が多く、生活者と住宅の供給者との間の情報や知識量の格差が大きいことが従来から指摘されており、それが住まいに関して様々な問題が発生しやすい要因にもなっている。

しかしながら、おとなになってからの「住まい」に関する「知識」・「リテラシー（課題発見、解決力）」・「経験」などの「住生活力」は、現状では不足しており、これを如何にして向上させるのか、課題は何なのか。居住文化の次世代への継承も大きな課題である。さらに「主体性のある生き方、行動力、価値観」も必要であるとの認識の下、本シンポジウムを企画した。

現代社会の中で、おとなが主体的な生活者として身に付けておくべき「住まい」の知識はさまざまだが、住の知識が必要になった時、正しい知識をどのようにして得るのか？高校までの学校教育での「住環境教育」を如何におとなの段階に結び付けていくのか？主体的な「住まい方」への関わり方とは何か？等、さまざまな視点から、本シンポジウムのテーマ「おとなのための住まい学がなぜ必要か」を考えていきたい。

碓田智子
主題解説

馬場弘一郎
講演

小澤紀美子
講演

森口美帆
講演

生川慶一郎
講演

檜谷美恵子
PD 司会

岩前篤
パネリスト

瀬渡章子
パネリスト

■申込方法　＊申し込み受付は、８月下旬ごろを予定しております。

ホームページの申し込みフォームまたは以下の〈参加申込み〉にご記入の上、FAX でお申し込みください。

住総研 HP（http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusoken.html）

このシンポジウムは継続職能研修（東京建築士会 CPD）認定プログラム（4 単位）です。

■申込締切日

11 月 12 日（火）まで（但し、定員 (120 名）になり次第、〆切らせていただきます。）

■お問い合わせ

一般財団法人 住総研
〒103-0027　東京都中央区日本橋 3-12-2　朝日ビルヂング 2 階
E-mail sympo@jusoken.or.jp ／ **TEL 03-3275-3078** ／ **FAX 03-3275-3079**

■会場：学士会館

都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線
「神保町」駅下車A9出口から徒歩1分

〈参加申込み〉　第 53 回 (11 月 15 日（金）) 住総研シンポジウム

ふりがな
お名前：　　ご所属（□一般　□学生）：

ご連絡先（□ご所属　□ご自宅）：

（〒　　－　　）

E-mail アドレス：

TEL：　　FAX：

住総研 FAX：03-3275-3079

FAX でお申し込みの場合は、切り取らずにこのままご送信ください